

北上電設工業(石巻市)開発の空調ファン CO₂削減効果にお墨付き

地球温暖化対策のため
の京都議定書の発効
を前に、北上電設工業
(本社石巻市)が開発
した空調併用型空気還
流器「エコシルフィ」
が注目されている。二

酸化炭素(CO₂)削減
の実現に向けて対策技
術などの検討を進めよ
うと国が設置した「中
核的温暖化対策技術検

討会」(座長・永田勝
也早稲田大理工学部教
授)が、削減対策とし
ての効果を確認した。省

エネに対する関心が高
まる中、身近な生活の
場からのCO₂削減につな
がる機器として今後、
普及が加速していった。

エコシルフィは、事
務所や住宅などの天井
に設置する空調ファ
ン。天井から垂直に送
る直線的な風で強制対
流を発生させ、天井付
近にたまった暖かい空
気を床付近に下降させ
る。室内温度のムラを
解消できるのはもちろ
ん、冷暖房の設定を抑
えられるため省エネを
実現できる。

事務所や家庭に快適空間を生み出し、二酸化炭
素削減も期待される天井ファン「エコシルフィ」



いる。東京都立大が北
上電設工業と〇三年度
から共同研究に着手。
北九州市で昨年十一月
にあった日本機械学会
でこれまでの成果が発
表された。

今年二月の京都議定
書発効によって、今後
エコシルフィに対する
関心が一層、高まるこ
とが予想される。検討
会委員で、NITアド
バンステクノロジの
船越宣博第三営業部担
当部長は「行政だけで
CO₂削減を実現させる
のは難しい。これから
産学官の連携が一層求
められる」と指摘して
いる。

商品化は二〇〇一
年。この価値を評価し
た電気卸売業の電源開
発(本店東京)と技術
・販売支援の業務委託
契約を締結し、商品の
種類や販売網の拡大を
図っている。

今回、その効果を認
めた中核的温暖化対策
検討会は、CO₂の削減
の対象からは外れたも
の、普及検討対象の
の、普及検討対象の
一つになり、業務・商
業施設向けに導入が
提案されている。

環境省によると、検
討会がこれまで有効対
象者からの関心も集めて
けられた。

エコシルフィは研究
削減するように義務付
けられた。

削減率は、2008
年の平均で基準年
(90年)に比べて6割

削減するよう義務付
けられた。